

矢崎財団

学術賞に水口氏、坂本氏 研究助成14人、国際援助13人

矢崎科学技術振興記念財団は17日、19年度研究助成金の受領者を決定しと発表した。「矢崎学術賞」受賞者2人、「研究助成金」受領者14人、「国際交流援助」受領者13人となつた。

「矢崎学術賞」は、「功績賞」に東北大学の水口将輝准教授、若手研究者を対象とする「奨励賞」に京都大学の坂本良太准教授が選出された。独創性に優れた研究を

選ぶ研究助成金では、「一般研究助成」は鹿児島大学・小野智司准教授、静岡大学・李洪譜教授、名古屋大学・大木靖弘准教授、京都大学・堀毛悟教授、東京工業大学・本倉健准教授、東京大学・砂田祐輔准教授、物質・材料研究機構の土屋敬志主任研究員の7件が対象となり、200万円を助成された。

若手研究者を対象に「100万円を助成する「奨

励研究助成」は、兵庫県立大学・佐藤孝憲助教ら7人が選出された。

また国際的な学会で研究発表や共同研究を行う際の論文の渡航費を援助する「国際交流援助」の受領者は13人となつた。